

(R7.3.5 賛成討論 池田)

議案第23号 令和7年度多賀城市一般会計予算 に賛成の立場から討論をいたします。

令和7年度多賀城市一般会計当初予算は、令和6年度当初比12.9%増の304億5千万円と過去最高の予算規模となっておりますが、令和6年度の多賀城創建1300年、観光元年を経て、令和7年度は新たな多賀城の魅力を市内外に発信するとともに、未来への財産となるような事業構成となっております。

具体的には、公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、スケートパークや子どもの遊び場、飲食店等を本年11月に中央公園にオープンするための中央公園魅力創造事業や東北学院大学跡地に老朽化が著しい総合体育館、市民プール、小中学校プールを縮充した複合化施設を整備検討するスポーツウェルネス施設整備事業、市庁舎の津波浸水対策に主眼を置いた西庁舎の大規模改修工事を実施する市庁舎耐震対策等事業、俳句や古代米等の本市に根付く文化観光資源をさらに磨きあげるとともに、地域おこし協力隊制度を活用した文化観光の新たな担い手育成を進める観光まちづくり推進事業などが挙げられます。

また、未来への投資として教育が果たす役割は大きいです。特別支援教育支援員に対する予算が拡充されることは評価しますが、子どもたちのため、どのような支援体制がよいのか今後しっかりと検証いただきたいと思います。また、少子化の時代にあった小中学校の長寿命化や通学区域の設定について関係者としてしっかりと議論し、将来にわたって持続可能な形となることを望みます。

歳入について見ますと、市税や繰入金などの自主財源が令和6年度当初比4.6%増の129億4948万4千円、地方交付税や国県支出金、市債などの依存財源が令和6年度当初比20%増の175億51万6千円となりました。人件費や扶助費の増により、今後も一層の財政硬直化が進むものと思料します。

また、令和7年度は第6次多賀城市総合計画の前期計画の最終年度でもあります。令和8年度からの後期計画のほか、こども計画、地域公共交通計画、地域福祉計画などの各種計画の策定検討が行われます。

市長は令和7年度予算を「謙虚な予算」と述べられました。これまでの施策を振り返り、より大胆な事業のスクラップ&ビルドを市民に見える形で理解を得ながら進めていただき、必要な財源の確保に一層努めていただきますようお願い申し上げ、賛成討論いたします。